

VIDA

Aurorasound

Vinyl Disk Amplifier

最新の半導体技術 と LCR型 ネットワークによる
フォノイコライザアンプ
新旧技術の融合によるアナログレコード再生の新発見



Vinyl Disk (ヴァイナルディスク)とは塩化ビニール製レコードの意味です

大きさ W260mm x D250mm x H100

特長

- MC, MMカートリッジ対応、MCはHigh/Lowインピーダンス切り替え可能 (オプションで6段階切り替えもあります)
- LCR型RIAA素子採用、NF型やCR型にない、L(フィルターコイル)によるRIAAカーヴ補正で中低域の厚みを実現
- 最新の半導体素子とディスクリート増幅回路による完全DC回路を構成、信号経路からコンデンサを追放
- 低域の解像度と低歪率化を実現し音楽ホールのライブ感や演奏者の定位が明確に聴こえます
- レコード再生に便利な大型ミュートSWや各種機能を前面パネルに集約し、操作上のストレスをなくしました
- 安心の保護回路を搭載、電源ON時のポップノイズや各種切り替え時のノイズを軽減
- 別シャーシの超低雑音高速安定化電源により高SNRを達成

Aurorasound Inc.

www.aurorasound.jp



最新の半導体技術による完全DC回路

最新の半導体技術による完全DC回路により信号経路から一切のコンデンサを排除しすべての聴感周波数帯域において色付けのないフラットな特性を実現。またアクティブDCサーボ回路により信号条件や温度の変動に対して安定した出力を確保しています。特に低域の解像度と歪率が改善された結果、音楽ホールの空気感、演奏の雰囲気や演奏者の定位が感じられます。電源部はトロイダル型トランス、ショットキバリアダイオードを使い超低雑音、高速の半導体式安定化電源回路、別シャーンにすることにより電源トランスからのリケージフラックスノイズを完全に排除しています。

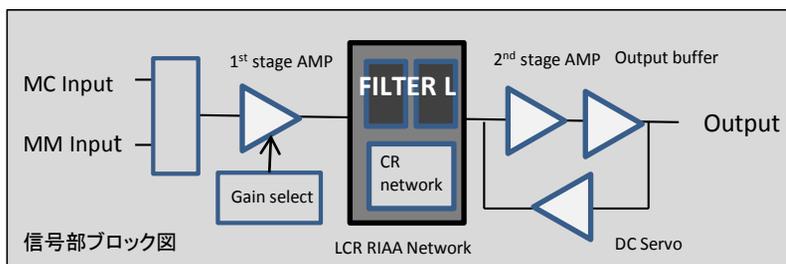
*サブソニックフィルタON時はCが信号経路に入り、20Hz以下を-6dBでカットします。

LCR型RIAA素子

一般的なNF型やCR型とは違い、増幅回路にとって理想的な条件で動作できる定インピーダンス型負荷のLCR型RIAA回路を構成。全周波数帯域にわたって均一な条件でRIAAカーブの補正増幅をします。従来は真空管を使い大型になる本方式を最新の半導体技術で小型に構築しました。各部品を配置を信号の流れに合わせてコンパクトに配置し左右対称かつ最短経路にしました。イコライザ素子のL、フィルターコイルにはプロ機器で有名なスウェーデン、ルンダール社がオーロラサウンドの要求をとりいれ特別に開発したものをターンオーバー、ロールオフに独立に合計4個採用しています。



本体内部基板写真 左右対称かつ最短経路構成



低域を下げ高域を上げたRIAA特性で録音されているレコードの微小信号をL(コイル)とCRのネットワーク回路でフラットに戻します。同時に約1,600倍の増幅をします。(MCカートリッジの場合) 増幅率が非常に大きいので電源や増幅回路自身が発生するノイズを小さくし、部品の配置や基板パターンを十分吟味して最終的な高SNを達成しています。



アナログ再生に便利な各種機能を搭載

MC/MM切り替え、MCインピーダンス切り替え、ダイレクト/サブソニックフィルタ切り替え、ステレオ/モノラル切り替え、カートリッジ消磁機能など各種の機能を搭載。それら各SWを前面に配し大型ミュートSWを使いやすい場所に置いてレコード再生時のストレスをなくしました。各種切り替えには密閉型小型信号リレーを採用し信頼性と安定性を確保、入力、出力RCA端子には耐久性の高いロジウムメッキを採用、真鍮とカーボンを組み合わせたインシュレータを脚に採用し、微小信号の流れを確実にサポートしています。

電気的特性

入力	MCゲイン64dB 適合カートリッジHigh 10-100Ω, Low 0.6-10Ω
出力	MMゲイン 39dB 47kΩ ラインレベル、アンバランスRCA端子
RIAA偏差	10Hz - 20kHz +/-0.25dB
THD+N	0.025% MC時 A-Weighted
入力換算ノイズ	-138dBV MC時
大きさ、重量	W260mm x D250mm x H100mm 約3kg
電源ユニット	W114mm x D200mm x H70mm 約1.4kg
電源電圧	AC 100V 50-60Hz, 最大40W



オーロラサウンド株式会社
〒241-0032 横浜市旭区今宿東町832-1, 28-107
045-953-6708 www.aurorasound.jp